

令和3年度

事業報告書



南房総市社協マスコットキャラクター「みなみん」

 社会福祉法人南房総市社会福祉協議会

目 次

〇はじめに	3
1 地域福祉の推進	
(1)地域福祉ネットワーク事業	
① 地区社会福祉協議会の活動支援	3
② ささえあいネットワーク南房総(協議体と生活支援コーディネーター)の取り組み	5
(2)地域生活支援事業	
③ 敬老事業	6
④ 福祉団体支援	6
⑤ 福祉施設の運営(公益事業)	6
⑥ 法律相談事業	7
⑦ 応急援護資金交付事業	8
⑧ ひとり親家庭支援事業	8
(3)広報啓発事業	
⑨ 広報啓発	8
⑩ 社会福祉大会	9
(4)福祉活動支援事業	
⑪福祉教育の推進	10
2 高齢者の在宅生活の支援	
(1)在宅福祉支援事業	
① ふれあいの居場所づくり支援事業	10
② ふれあいランチサービス事業	11
③ 紙おむつ給付事業	12
④ 交通空白地有償運送事業(ボランティア移送サービス)	12
⑤ 生活援助サービス事業(みなみん・おたすけサービス)	14
⑥ 福祉車両・福祉機器貸出事業	15
⑦ 福祉機器リサイクル事業	15
3 安心した生活を送るための相談支援と権利擁護	
(1)相談支援事業	
① 生活困窮者自立相談支援事業	16
② 日常生活自立支援事業	16
③ 安房地域権利擁護推進センターへの協力	17
4 自立と生活の安定を図る資金の貸付	
(1)資金貸付事業	
① 福祉資金貸付事業(市社協)	17
② 生活福祉資金、高齢者及び重度障害者居室等改築・改造資金貸付事業(県社協)	17

5 ボランティア活動の支援

(1) ボランティア活動支援事業

- ① ボランティア連絡協議会の運営……………18
- ② ボランティア・市民センターの整備……………18
- ③ ボランティア養成講座……………18
- ④ ボランティア助成事業……………20

6 共同募金運動の推進

(1) 共同募金事業

- ① 赤い羽根共同募金運動……………20
- ② 歳末たすけあい運動……………21
- ③ 災害義援金募集……………22

7 社会福祉協議会の活動基盤整備

- ① 事務局体制の充実……………23
- ② 会員募集の状況……………25
- ③ 役職員研修……………25
- ④ 福祉基金の造成……………26
- ⑤ 福祉サービス苦情解決と情報公開……………26
- ⑥ 地域福祉活動計画に基づく活動の実施……………26

令和3年度 社会福祉法人南房総市社会福祉協議会事業報告

〇はじめに

南房総市社会福祉協議会(以下「本会」)は、地域福祉活動計画(以下「あったかささえあいプラン」)の基本理念である「みんながつながり支え合う みんなに やさしいまちづくり」の実現に向け、地域住民をはじめ関係機関や福祉関係団体の参加と協働のもとに事業を進めた。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響は続いており、特に高齢化率が高い南房総市においては高齢者等の閉じこもりや孤立が課題となっていることから、民生委員・児童委員やボランティア、また地区社会福祉協議会活動の協力により地域の見守り訪問活動を継続的に進め、地域住民同士のつながりを基盤とした「ささえあい・たすけあい」の取り組みを強化した。また、見守り訪問活動の中で困りごとを抱えた世帯へは、本会事業の相談支援へつなぎ、対象となる世帯に積極的に関わりながら、民生委員・児童委員や関係機関との相互連携のもとで、第2のセーフティネットとなるよう相談支援の強化に努めた。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各事業を中止することもあったが、今年度は感染対策を行いながら、人数制限やインターネットのオンラインを活用した取り組みなど新たな方法を取り入れ事業を実施するとともに、コロナ禍における緊急支援として、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者が急増したことを受け、南房総市健康支援課と連携を図り、健康相談(健康支援課)及び生活必需品の買い物代行(社協)を実施するなど、地域ニーズや課題に応じた事業を展開した。

また、法人運営においては、令和4年4月に本所移転を目指し、本会の活動基盤整備に努めるため、事業の在り方や体制などを検討し準備を進めた。コロナ禍においては、今まで継続してきた事業が同じように実施できない状況もあることから、今後事業の見直しや中止また新たな事業への転換などを検討していく。

以下令和3年度の活動状況を、報告する。

1 地域福祉の推進

(1)地域福祉ネットワーク事業

①地区社会福祉協議会の活動支援

【年間実績】 事業費:1,231,328円

No	地区名	重点事業	事業実施による成果等
1	富浦	①友愛訪問活動	①ひとり暮らし高齢者の安否確認を行い、地域のつながりを強化した。 今後、対象者を増やし地域のつながりを広める。
2	富山	①友愛訪問活動	①ひとり暮らし高齢者の安否確認を行い、地域のつながりを広めることができた。 見守り対象者の状況を把握し、今後の活動を広めていく。

3	三芳	①友愛訪問活動 ②いきいきサロンの開催 ③まごころ年賀はがき交流 ④「よりどころみよし」協議体との連携	①高齢者世帯の生活支援と見守りの充実が図られた。 ②高齢者の閉じこもり予防が図られた。 ③小学生との交流を通じて、世代間交流が図られ、地域の絆が深まった。 ④相互協力により活動が活発化した。
4	白浜	①高齢者のつどい ②友愛訪問活動	①ひとり暮らし高齢者の閉じこもり防止と体操を通じて介護予防に取り組むことができた。 ②高齢者の安否確認とともに孤独感の緩和を図り、日常での見守り活動が広がった。
5	千倉	①友愛訪問活動 ②サロン開催への協力	①見守り活動を通して、健康確認と困りごとの聞き取り調査を実施、今後の活動につなげていく。 ②地域活動への協力をを行い、活動の輪が広がった。
6	丸山	①のし餅配布事業 ②友愛訪問事業	①高齢者の安否確認とともに、情報交換や交流が図られた。 ②対象世帯の現状を把握し、見守り対象者を増やした。今後の交流会やサロンの活動への参加を呼びかけていく。
7	和田	①友愛訪問活動	①地域で見守りが必要な対象者の現状把握ができた。訪問時、閉じこもりがちな高齢者と交流し孤独感の軽減を図った。名簿を作成し、災害時や福祉活動への参加など福祉活動への活用を検討していく。

地区社会福祉協議会(以下「地区社協」)は地区再編を行い、7つの地区社協が新たにスタートし、活動を支援した。組織再編にあたっては、地域で活動している日赤奉仕団や高齢者施設、障害者施設などから新たなメンバーを迎え、地域連携、多職種連携を目指した。

地区社協活動では、ささえあいネットワーク南房総(協議体)と連携を図り、地域課題に向けた取り組みとして、見守り、居場所づくり、担い手の普及、外出支援を重点事業に捉え取り組んだ。今年度は、コロナ禍ということもあり、居場所づくりである地域交流を中止し、見守り活動として友愛訪問に取り組む地区が多かった。



日赤奉仕団による防災講座



見守り訪問活動

②ささえあいネットワーク南房総(協議体と生活支援コーディネーター)の取り組み(市受託)

事業費:5,200,000円

【年間実績】

No	協議体名	取組回数	協議体の内容と成果等
1	こらぼ♡富浦	16	○居場所づくりの普及 地域で活動している団体や個人に向け、居場所づくりを提案した。新規サロン1か所増
2	アットホームとみやま	10	○居場所づくりの普及 サロン活動の活性化 サロン開催回数の増加に向け、情報共有会議を開催した。 サロン開催回数の増、新規サロン1か所増
3	よりどころみよし	20	○サロンを通して見守り活動の推進と買い物支援、救急医療情報カプセルの普及 コロナ禍における見守り訪問活動を実施した。 サロン開催時に移動販売を利用し買い物支援を実施した。 救急医療情報カプセル利用者が増えた。
4	やあばっしえ白浜	14	○移動、買い物支援 白浜地区において買い物支援(配達)ができる商店を調査し、一覧表を作成した。 白浜地区に全戸配布を行った。
5	ほつとらいふ千倉	11	○地域の見守り活動の推進 コロナ禍において地域で取り組んでいる見守り活動の情報共有を図った。 見守り活動の普及
6	おたがいさまネットワークまるやま	12	○地域の見守りや住民同士のつながりの強化 救急医療情報カプセルの更新について検討した。 地域で安否確認訓練への協力 行政連絡協議会への周知活動を行った。
7	わだいすき	13	○地域の見守り活動の推進 地区社協で実施している友愛訪問で得た課題を検証した。 コロナ禍での孤立、買い物支援の必要性を把握した。 買い物先、移動販売、宅配サービスの情報を整理した。
8	ささえあいネットワーク南房総(本所)	15	○各地区生活支援コーディネーター、地域包括支援センター及び南房総市健康支援課との情報共有会議開催 地域全体でささえあいたすけあい活動の普及 移動、見守り、居場所づくりの推進 第1層協議体との連携

高齢者の生活支援体制整備事業としては、市内7地区に配置した「ささえあいネットワーク南房総」(協議体)で、今年度も生活支援コーディネーターを中心に、地域の福祉課題を協議し、課題を解決するための取り組みが進められた。

しかし、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により会議や活動の休止もあった。

今後も継続的に生活支援コーディネーターが地域の



協議体の様子

関係者と協働して進めていくことが必要であり、コロナ禍だからこそできる「ささえあいたすけあい活動」を進めていくことが課題である。

(2) 地域生活支援事業

③ 敬老事業

結婚 50 周年祝賀事業 事業費: 614,836 円

(対象: 昭和 46 年 9 月 1 日～昭和 47 年 8 月 31 日の間に結婚され市内にお住まいのご夫婦)

【年間実績】

開催日	内 容	希望対象ご夫婦
10 月	・記念品贈呈(記念写真・夫婦茶碗)	79 組

結婚 50 周年を迎えたご夫婦に敬意と祝意を表し、対象世帯 79 組に記念品を贈呈した。

本事業は、令和 4 年度をもって終了する。

④ 福祉団体支援

【年間実績】

福祉団体名	会議(市/支部)	研修会(市/支部)	事業(市/支部)
南房総市民生児童委員協議会	6 回/77 回	6 回/2 回	0 回/0 回
南房総市老人クラブ連合会	7 回/54 回	0 回/1 回	2 回/25 回
南房総市遺族会	2 回/12 回	0 回/0 回	1 回/1 回
南房総市ひとり親福祉会	0 回	0 回	2 回
南房総市中心身障害者(児)福祉会	3 回	0 回	1 回

市福祉団体(5)、各支部福祉団体(21)の事務局として事務支援及び連絡調整を行い、各団体の自主運営が図られるよう支援に努めた。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、団体支援を行った。

⑤ 福祉施設の運営(公益事業) 事業費: 3,780,775 円

【ちくら介護予防センターゆらり延べ利用実績】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年比較
利用者数	9,925人	2,172人	3,091人	919人
施設利用件数	416回	489回	564回	75回

ちくら介護予防センターゆらり(浴場等)の指定管理を受け、施設利用者へのサービスの充実を図った。浴場と施設は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から9月までは利用中止(※一部部屋は開放)とし、10月から浴場の利用を再開した。

施設管内のメンテナンスや修繕を実施し、施設管理の整備に努めた。

⑥法律相談事業 事業費:79,080円

【開設実績】

内容(延べ数)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年比較
開設日数	12日	2日	7日	5
相談員数	12人	2人	7人	5
相談件数	57件	11件	39件	28

【内容別件数】

	内 容	件 数
1	不動産(土地・境界・家屋・墓地・その他所有物)	4
2	相続(遺言・遺産等)	19
3	金銭(借金・貸した金額の請求・家賃滞納・カード関係)	4
4	離婚・再婚	4
5	事故・事件・犯罪・被害届等	1
6	財産関係	1
7	その他	6
	合 計	39

【開催場所】

開催月日	開催場所	担当司法書士相談員
4月15日	丸山公民館	中止
5月20日	とみうら元気倶楽部	中止
6月17日	白浜コミュニティセンター	鈴木健三
7月15日	三芳農村環境改善センター	佐野和生
8月19日	千倉保健センター	中止
9月16日	富山ふれあいコミュニティセンター	中止
10月21日	和田地域福祉センターやすらぎ	中止
11月18日	三芳農村環境改善センター	江澤正志
12月16日	白浜コミュニティセンター	庄司 圭
1月20日	富山ふれあいコミュニティセンター	佐野和生
2月17日	丸山公民館	鈴木健三
3月17日	千倉保健センター	鈴木健三

千葉司法書士会館山支部の協力のもと、法律の無料相談を実施した。身近な場所で問題を気軽に相談してもらうことにより、地域の方々が安心して暮らせるよう支援した。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令や市内での感染状況に応じて開催を中止した月もあったが、今年度は7回実施することができた。

その他に、緊急な相談やより専門的な相談を希望された方については、弁護士会や他の専門窓口の電話相談を案内した。

⑦応急援護資金交付事業(一部市補助) 事業費 700,000 円

【年間実績】

交付内容	地区	発生月	見舞金額(円)
火災 全焼	富 浦	4 月	100,000
火災 全焼	千 倉	4 月	100,000
火災 全焼	三 芳	11 月	100,000
火災 全焼	三 芳	12 月	100,000
火災 全焼	千 倉	12 月	100,000
火災 全焼	千 倉	12 月	100,000
火災 全焼	千 倉	1 月	100,000
合 計 7 件			700,000

火災、風水害等で被災された世帯に見舞金を交付し、被災者の当面の経済的負担を軽減し、少しでも早い日常生活が送れるよう支援を行った。今年度の応急援護資金の見舞金は7件の火災であった。

⑧ひとり親家庭支援事業 事業費:181,932 円

【年間実績】

(単位:世帯)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年比較
交付世帯数	6	3	2	△1
新規交付世帯数(内)	2	1	1	—

※入居支度金 30,000 円 家賃助成金上限 10,000 円×12 か月 (年 6 回に分けて給付)

新たに民間アパート等に居住しようとするひとり親家庭等に対し、経済的負担を軽減し自立した生活が送れるよう、入居支度金及び家賃の一部を補助する助成金を交付した。

昨年度に引き続き、転居するひとり親世帯があまりなかったため、令和 3 年度の新規交付世帯数は1世帯であった。該当となる世帯の情報は、市の担当課から連絡が来ることになっているので引き続き連携を図っていく。

(3) 広報啓発事業

⑨広報啓発

(1) 広報紙の発行 事業費:707,890 円

【年間実績】

広報紙「てんだあ」	発行部数
54 号発行(令和 3 年 8 月発行)	14, 950 部
55 号発行(令和 3 年 12 月発行)	14, 950 部
56 号発行(令和 4 年 4 月発行)	14, 950 部
年間発行部数	44, 850 部



広報紙「てんだあ」

社協の活動などを知っていただくため、広報紙「てんだあ」を3回発行した。また、新たに社協ガイドブックを作成した。ガイドブックの発行は令和4年4月に全戸及び福祉関係者へ配布する予定。

(2)ホームページの開設と更新 事業費:92,070 円

南房総市社会福祉協議会 ホームページアドレス

URL: <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp/>

ホームページには、社会福祉協議会の組織、事業等の紹介をはじめ、住民に必要な福祉情報を掲載した。また、SNS(ツイッターやフェイスブック)を開設し、リアルタイムで本会の事業予定や福祉情報を提供した。

⑩社会福祉大会 事業費:203,185 円

【開催実績】

開催日	令和3年11月27日(土)
場 所	千倉保健センター
参加人数	被表彰者 31 人 関係者及び職員 37 人 計 68 人
内 容	<p>第 16 回 南房総市社会福祉大会 大会テーマ 「今だからみんなでつくろう地域の新たなつながりのカタチ」 ○式典 福祉功労者の表彰等</p> <ol style="list-style-type: none"> 千葉県社会福祉協議会長表彰の伝達 ・和田区社会福祉協議会 千葉県社会福祉協議会長感謝状の伝達 ・和田地区小域ボランティア 千葉県共同募金会長感謝状の伝達(7 地区) ・富浦 原岡区 ・富山 平久里下区 ・三芳 川田区 ・白浜 本郷区 ・千倉 寺庭区 ・丸山 西原区 ・和田 下三原区 南房総市社会福祉協議会長表彰 【地域福祉活動功労者(10 名)】 ・平島洋子・出口素弘・鈴木喜一郎・支倉孝彦・菅沼恭子・小谷富美子 ・古谷戴子・山口しづ江・石原敦子・正木成子 【地域福祉活動功労団体(3 団体)】 ・豆の会 ・配食ボランティア恵みの会 ・配食ボランティア和みの会 南房総市社会福祉協議会長感謝状 【個人 1 名】池田幸雄 【団体 2 団体】・KDDI 株式会社南関東総支社 ・白浜地域づくり協議会きらりゴルフ愛好会 職員永年勤続 (個人 1 名)・長田英文 福祉作文優秀作品表彰状 【小学生の部】 最優秀賞 網代蒼大(富山小 5 年) 優秀賞 安田花菜(富山小 5 年) 穂積七海(三芳小 4 年) 優良賞 川崎文愛(三芳小 3 年) 野村彩文(嶺南小 6 年) 【中学生・高校生の部】 最優秀賞 高梨真有佳(富山中 3 年) 優秀賞 白川 泉(三芳中 1 年) 関 笑華(安房拓心高校 1 年) 優良賞 福島優也(富浦中 2 年) 田中菜月(三芳中 1 年) <p>○福祉作文の発表 ○来賓祝辞 ○大会宣言</p>

地域住民の方々が一堂に会して、市の地域福祉について情報共有するとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々の功績を讃え表彰するため社会福祉大会を開催した。

今年度の社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度と同様に表彰のみの大会とした。実施にあたり、十分な対策をとり感染予防に努めた。



第 16 回南房総市社会福祉大会



福祉作文の発表

(4)福祉活動支援事業

①福祉教育の推進

【福祉教育推進助成金交付校実績】 事業費：390,000 円

小学校名		中学校名		高校名
富浦小学校	富山小学校	富浦中学校	富山中学校	安房拓心 高校
三芳小学校	白浜小学校	三芳中学校	白浜中学校	
千倉小学校	嶺南小学校	千倉中学校	嶺南中学校	
6 校		6 校		1 校

小・中学校、高校の児童生徒に幼いころから思いやりのある優しい心を育ててもらふことを目的に、福祉教育を推進する学校へ助成金を交付した。特に「美化活動」や「交流事業」などに活用される学校が多かった。今年度末各学校へ向けて福祉教育に関する取り組みについてのアンケートを実施した。アンケートの内容を踏まえ、今後どのように学校と連携を図っていくか検討し推進を図る。

2 高齢者の在宅生活の支援

(1)在宅福祉支援事業

①ふれあいの居場所づくり支援事業（お達者サロン）（市補助） 事業費：223,854 円

【年間実績】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
サロン開催状況	26ヶ所	25ヶ所	24ヶ所	△1
利用者数(人)	7,259	769	798	29
協力者数(人)	3,043	382	628	246

【助成金交付実績】 1 団体・・・20,000 円

身近な場所で交流することで閉じこもりを予防し、利用者相互の交流を通して生きがいを見だし、元気に過ごしていただき介護予防の促進を図ることを目的として、ボランティアが運営するお達者サロンに助成金を交付するとともにサロン運営を支援した。

今年度も高齢者が集う「お達者サロン」は、感染リスクを考慮し中止する団体が多かったが、昨年引き続き、サロン開催の代替えとして訪問活動を実施した団体もあった。また、まん延防止等重点措置が解除されると、感染防止対策を行い、徐々にサロンが再開されている。

サロンでは高齢者の体力低下も見られたため介護予防体操の普及や外出が困難な高齢者もいることから買い物支援をする取り組みも見られた。

また、助成金を交付する団体は 1 団体であった。今年度は、コロナ禍で開催を見合わせる団体は、次年度以降に希望している。



サロンで介護予防の健康体操



サロンで買い物支援

②ふれあいランチサービス事業 事業費:2,092,076 円

【地区別配布(食)数実績】 月平均配布数・793 件 (令和 2 年度 466 件 比較 327 件増)

※4 月は、安否確認の電話のみ実施

地区名	延べ配布数
富 浦	409
富 山	705
三 芳	679
白 浜	1,553
千 倉	3,862
丸 山	741
和 田	782
合 計	8,731

協力ボランティア			
調理	93 人	月平均	8 人
配食	1,286 人	月平均	107 人

毎月1回、ボランティア、地区社協、民生委員・児童委員等が一人暮らし高齢者(70歳以上)を訪問し、健康・生活状況の確認を行うとともに交流を通して在宅生活を支援した。

今年度も参加されるボランティアや対象となる高齢者への感染リスクを考慮し、基本的にボランティアが調理する弁当の配布を中止し、マスクや啓発チラシを配布し安否確認を行った。11 月からは、感染状況が落ち着いたことから、市販の弁当を届けた。

現在、地区においては調理ボランティアの高齢化やボランティア団体の解散もあり、調理が再開となっても今まで通り弁当を作れない地区もあり、今後本事業について見直しを検討していく。

③紙おむつ給付事業

(1) 紙おむつ給付事業 事業費:2,436,058 円

【給付実績】

(単位:人数)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
障害者手帳	154	176	171	△5
要介護3	120	152	181	29
要介護4	145	165	148	△17
要介護5	103	103	71	△32
合 計	522	596	571	△25

要介護3・4・5、重度障害者、療育手帳、精神障害者保健手帳を所持し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とされる方を対象に、年4回、1回あたり介護度3は2,500円相当、介護度4・5及び障害者は5,000円相当の紙おむつを支給し在宅介護を支援した。昨年度より全体的には減少したが、要介護3の対象者は増えている。

(2) 高齢者介護用品支給事業(市受託) 事業費:2,942,460 円

【給付実績】

(3月末給付実人数)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
要介護4	30	27	34	7
要介護5	17	12	11	△1
合 計	47	39	45	6

要介護4・5の高齢者で非課税世帯の方を対象に、年4回、1回あたり25,000円相当の紙おむつ代を助成した。

申請者は昨年度より6件増加した。本事業は市からの受託であるため、担当課である健康支援課と調整を図り実施した。高齢者介護用品支給事業が対象にならなかった方は紙おむつ給付事業で支給できるよう申請の案内を行い、ご家族の介護負担軽減を図った。

④交通空白地有償運送事業(ボランティア移送サービス)

事業費: 収入総額:1,916,336 円 支出総額 1,633,074 円 当期残額:4,475,396 円

【会員登録数・205人】

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
利用会員数	143	154	136	△18
協力会員数	78	84	69	△15

【ボランティア移送サービス利用実績・1,331人】

(単位:人)

内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
延べ利用者数	1,955	1,493	1,331	△162
延べ協力者数	443	388	346	△42

【サービス内容】

(単位:件)

内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
病 院	1,342	950	778	△172
公共機関	159	139	155	16
買 い 物	420	382	380	△2
そ の 他	34	23	18	△5
合 計	1,955	1,494	1,331	△163

【運転協力者講習会開催実績】

開催月日	内 容	参加者数
6月24日	移送サービス運転協力者講習会	7人
12月14・16日	移送サービス運転協力者フォローアップ講習会	43人
合 計		50人

高齢者・障害者等の移動困難者に対して、運転協力者(ボランティア)が通院や買い物等の送迎を行い、在宅生活を支援した。コロナ禍ということもあり、外出を控える方も多く、また、通院は往診や病院の送迎を利用する方もあり、利用は減少している。

移送の安全確保や、ボランティアの運転技術を維持するため講習会を開催した。新規の運転協力者講習は年2回予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、1回の講習会となった。ただし、運転協力者のフォローアップ講習は、千倉自動車教習所の協力もあり、予定通り実施することができた。

地域課題でもある移動について、移送サービス利用者の対象者を広げる検討をするため、南房総市企画財政課、健康支援課とともに民間のタクシー会社へのヒアリングを行った。引き続き、利用者の対象要件の見直しを検討していく。

なお、千葉県ゴルフ協会の助成を受け、新規車両を整備した。



運転協力者運転講習会



フォローアップ講習会

⑤生活援助サービス事業(みなみんおたすけサービス)

事業費:収入総額:38,584円 支出総額:15,234円 当期残額:139,400円

(1)みなみんおたすけサービス

【会員登録数・・ 22人】

(単位:人数)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
利用会員数	6	2	5	3
協力会員数	13	12	17	5

【サービス実績】

(単位:件数)

内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
話し相手	23	0	0	—
衣類の洗濯	3	1	0	△1
住居の清掃	15	9	5	△4
買物代行	31	6	3	△3
食事の支度	5	0	0	—
その他	8	0	0	—
合 計	85	16	8	△8

南房総市にお住まいの方々のささえあい活動を目的に、高齢者・障害者等に対して、協力者(サポーター)が日常の家事を手伝い在宅生活を支援するサービスに取り組んだ。

昨年度、広報紙「てんだあ」で事業を紹介し、若干ではあるが利用者や協力者(サポーター)の登録が増加したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりサービス実績が減少している。

今後は関係機関である地域包括支援センターやケアマネージャー連絡会等への周知を図り、事業の推進を目指す。

(2)生活支援(コロナ対応買い物代行)

【利用実績】

(単位:件数)

	件 数
相 談	5
実利用数	4
延べ利用回数	4

市内の新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、外出できない方に対しての生活支援を行うため、南房総市健康支援課と協議し、新たに「新型コロナウイルス感染症」と診断され、自宅療養等をしている方に、健康相談(健康支援課)及び食料品や日用品などの生活必需品の買い物を代行(社協)する生活支援を実施した。配達には、利用者の個人情報に配慮し、職員が行った。

⑥福祉車両・福祉機器貸出事業

(1)福祉車両の貸出 事業費:1,372,336 円

【年間貸出実績】 ※運転手は利用される方が手配しガソリン代は実費負担。(単位:件数)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
福祉車両貸出件数	836	842	738	△104
うち移送サービス件数	646	658	513	△145

車イス仕様車両を無料で貸出し、病院の送迎や外出等の在宅介護を支援した。また、事故が発生しないよう、福祉車両整備に努めた。

福祉車両の貸出件数は、減少している。コロナ禍で外出をする機会が減った為ではないかと思われる。

(2)福祉機器の貸出

【年間貸出実績】 (単位:件数)

福祉機器名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
車イス	80	53	62	9
その他	2	0	0	0
合計	82	53	62	9

車イスを無料で貸出し、家族の介護負担を軽減することで在宅介護を支援した。

昨年度に車イスの寄贈があり、新しい車イスを配置し貸出を行った。

⑦福祉機器リサイクル事業 事業費:35,758 円

【年間実績】 (単位:件)

福祉機器名	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	譲受数	譲渡数	譲受数	譲渡数	譲受数	譲渡数
車イス	6	7	17	3	8	11
歩行器 (シルバーカー)	3	2	4	2	0	2
杖	0	3	3	5	0	0
合計	9	12	24	10	8	13

各家庭で不要になった車イス・歩行器等を受け入れボランティアが整備し、必要とする方に提供することで資源の有効活用を図った。

リサイクル品の譲渡数は13件で、3件増加した。

また、リサイクルボランティアが1名増員となった。

今後もSDGsの観点からも有効な事業と考えられるので、本事業を推進していく。



3 安心した生活を送るための相談支援と権利擁護

(1) 相談支援事業

①生活困窮者自立支援事業(市受託) 事業費:15,174,484 円

【年間実績】

(単位:件数)

自立相談支援事業	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
新規相談件数	58	143	91	△52
プラン作成件数 (再プラン含む)	27	33	39	6
終結件数	8	10	11	1

(単位:件数)

	新規相談件数	プラン作成件数	継続支援件数
家計改善支援事業	11	16	11
就労準備支援事業	3	4	4

生活困窮者の抱えている課題を分析し、そのニーズを把握、そして、個々のニーズに応じた自立支援計画を作成し、関係機関と連携調整を図りながら就労等各種支援を継続的に行い、自立に向け支援した。

昨年度に比べ新規相談件数は減っているが、新型コロナウイルス感染症特例貸付やその他の貸付相談と併せて、コロナ禍の失業や収入の減少による相談が多かった。また、8050問題等の複合的な課題を抱えている世帯からの相談も増加しており、家計改善支援事業や就労準備支援事業と連携しながらワンストップでの相談対応に努めた。

今後も、民生委員・児童委員や福祉関係機関と連携を図りながら、自立に向けた支援に努めていく。

②日常生活自立支援事業(県社協受託) 事業費:1,586,700 円

【年間実績】

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
新規相談数	8	16	23	7
新規契約数(移管含)	5	2	8	6
解約数	1	2	3	1
契約数(3月末)	13	13	18	5
現任支援員数	12	12	12	—

生活支援員・担当者研修会及び意見交換会……2月7日実施 10名参加

高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域でその人らしく安心して過ごすために、生活支援員が日常生活における財産の管理や福祉サービスの利用援助をサポートした。

新規相談件数及び契約件数は増加した。本事業は財産管理を支援するという責任のある事業なので、通帳や資料などの管理、チェック体制を徹底するとともに、生活支援員の研修を通して支援の向上を図った。

③安房権利擁護推進センターへの協力

成年後見制度についての相談や利用を希望する方へ安房権利擁護推進センターを紹介し、成年後見制度の利用促進を図った。

4 自立と生活の安定を図る資金の貸付

(1)資金貸付事業

①福祉資金貸付事業(市社協) 事業費:153,000円

【福祉資金貸付実績】 (単位:円)

	件数	貸付額	償還額	償還未済額
令和3年度貸付	4	153,000	132,000	21,000
徴収不能金	0	0	0	0

生活保護申請者等の低所得者世帯や高齢者世帯、障害者世帯に生活資金を貸し付け、民生委員・児童委員と連携し自立更正及び生活の支援を行った。

今年度は、主に生活保護費利用までのつなぎとしての貸付が多かった。また、貸付のうち、償還免除に該当する案件はなかった。

②生活福祉資金、高齢者及び重度障害者居室等改築・改造資金貸付事業(県社協)

事業費:929,400円

【生活福祉資金貸付実績】

通常の貸付相談件数・・・10件 (単位:円)

	件数	貸付額	備考
緊急小口資金	8	730,000	

特例貸付相談件数・・・81件 (単位:円)

	件数	貸付額	備考
緊急小口資金	26	5,200,000	
総合支援資金	21	10,710,000	
延長貸付	6	3,300,000	
再貸付	30	4,500,000	

【高齢者及び重度障害者居室等改築・改造資金貸付実績】 (単位:円)

	件数	貸付額	備考
貸付	0	0	

通常の生活福祉資金の貸付は、今年度も緊急小口資金の貸付のみで、主には生活保護費の利用まで又は生活困窮者自立相談支援事業の利用者が収入を得るまでのつなぎ資金としての活

用であった。

特例貸付は昨年度より貸付相談は減ったが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から収入の見通しが立たない場合は、延長貸付や再貸付を継続して利用する方が多かった。

今後、償還が始まるが、生活困難な世帯に対しては、生活再建に向け生活困窮者自立支援制度で支援していく。

なお、令和3年6月末で延長貸付、令和3年12月末で再貸付の申請受付は終了となっている。

5 ボランティア活動の支援

(1) ボランティア活動支援事業

事業費: 1,479,167 円

① ボランティア連絡協議会の運営支援

【年間実績】

(単位: 回)

運営支援内容	回数
運営会議・役員会	7
行事関係	11



折鶴アートの制作

ボランティア団体の活性化により、地域福祉の向上を図るため、ボランティア連絡協議会及び各地地区のボランティア活動の運営を支援した。コロナ禍、ボランティア活動が実施できない状況だったが、市ボランティア連絡協議会では、昨年から実施している折鶴アートを継続し活動につなげた。

② ボランティア・市民活動センターの整備

【年間実績】

内 容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
ボランティア登録団体数	74 団体	66 団体	61 団体	△5
団体・個人登録者数(延べ)	1,238 人	1,057 人	923 人	△134
ボランティアコーディネーター	1 人	1 人	1 人	—

ボランティア活動を支援するため、ボランティア保険加入受付事務を行い、ボランティアの方々が安心して活動できる体制を整えた。また、ボランティアコーディネーターを配置し、積極的に地域の会議や行事に参加するなどして、連絡調整や活動支援を行った。

ボランティア登録団体数及び登録延べ人数は、コロナ禍で活動を中止、また高齢化により解散する団体もあり減少している。

③ ボランティア養成講座

【年間開催実績】

講座名	開催日	内 容	参加者数
福祉ボランティア スクール	9月26日 10月24日	・第1回(オンライン形式で実施) 災害についてできることを考えよう ・第2回(三芳農村環境改善センター) 認知症や障がいがあるってどうということ	市内中学生 22人

		認知症サポーター養成講座 福祉体験講座(車イスの操作)	
給食 ボランティア	中止	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により調理による弁当づくりを実施していないため中止	—
生活支援担い手 養成講座 (基礎講座)	11月30日	・社協のささえあい活動について(社協) ・南房総市の高齢者の現状及び高齢者の特徴と対応 【講師】健康支援課基幹包括支援センター ・手助けするための心構え・緊急時の対応 【講師】JA 安房経済部福祉センター	新規・現任 サポーター 7人
生活支援担い手 フォローアップ講座	7月29日	・コロナ禍での活動再開に向けて 講師 健康支援課 意見交換、情報共有 ・「介護予防体操(いきいき百歳体操)」の紹介	お達者サロン サポーター (代表) 23人
福祉体験講座	11月12日	・富山小5年 手話体験	72人
	12月17日	・富浦中3年 車イス・手話体験	
災害ボランティア センタースタッフ 養成講座	10月15日	・「災害ボランティアセンターとは」 【講師】 (公財)SL 災害ボランティアネットワーク 天寺純香氏 【講義】災害時のボランティア活動とは 地域の活動 ニーズの重要性 災害ボランティアセンターの役割 と1日の流れ 【演習】災害ボランティアセンター活動の 図上演習・疑似体験演習	民生委員 地区社協 行政 千葉工大 社協職員 18人

ボランティア活動を始めたい方、またボランティア活動に関心を持つ方を対象に各種ボランティアの講座を開催した。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講座を中止することもあったが、今年度は、人数制限や新たにインターネットを活用したオンラインによる講座を開催した。今後もコロナ禍でもできる方法で内容を検討していく。



福祉ボランティアスクール (オンライン)



手話体験講座

④ボランティア助成事業

【助成金交付実績】

件数	合計	ボランティア団体(グループ)助成金内容
48 団体	818,000 円	市ボランティア連絡協議会 1 団体 38,000 円 支部助成 6 団体 41,000 円 助成団体 36 団体 759,000 円 ※1 団体返金 20,000 円

※助成金交付内容(基本金額)

市ボランティア連絡協議会 80,000 円 ボランティア連絡協議会各支部 30,000 円
 会員 10 名未満 20,000 円 10 名以上 30 名未満 30,000 円 30 名以上 40,000 円

ボランティアセンターに登録している団体の活動の活性化を図るため、団体の運営資金の一部を助成した。コロナ禍で、活動を自粛や休止する団体も多く、減額助成となる団体が多かった。

6 共同募金運動の推進

(1)共同募金事業

全国一斉に行われる共同募金運動は 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで実施され、区長を始め地域の方々のご協力をいただき活動が展開された。

①赤い羽根共同募金運動

【募金実績】

(単位:円)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	前年度比較
戸別募金	5,948,420	5,604,424	6,072,511	468,087
法人募金	3,000	3,000	3,000	—
学校募金	118,500	127,540	123,092	△4,448
職域募金	22,307	22,987	19,884	△3,103
イベント募金	0	800	0	△800
個人募金	500	54,094	0	△54,094
その他	78,329	77,721	69,026	△8,695
合計	6,171,056	5,890,566	6,287,513	396,947

区の役員をはじめ地域の皆様のご協力をいただき募金運動を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響もある中ではあったが、戸別募金が大幅に増額となった。寄せられた募金は、社会福祉大会・結婚 50 周年祝賀事業・福祉機器リサイクル事業・災害ボランティアセンター運営資材整備事業・高齢者、障害者等の福祉車両の整備事業・福祉育成事業・絵本贈呈事業・広報紙の発行など地域福祉を推進するために活用した。

共同募金運動については、年々人口や世帯数が減少していく中で募金額も減少している状況であり、改めて共同募金運動の目的や趣旨などの周知を図り運動を盛り上げるとともに、事業の見直しを進めて行く。

★ 絵本贈呈事業 事業費:280,548 円

【絵本贈呈先実績】

保育所			幼稚園	
富浦保育所	富山保育所	三芳保育所	富浦幼稚園	富山幼稚園
千倉保育所	嶺南保育所	白鳩保育園	三芳幼稚園	白浜幼稚園
認定こども園こどもの森	白浜東部保育園		千倉幼稚園	嶺南幼稚園
8 園			6 園	



絵本贈呈事業



絵本贈呈事業

小さなお子様や障がいを持つ方、またそのご家族で参加していただける映画の上映会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から今年度も中止とした。そこで、昨年度に引き続き、絵本に親しんでもらうことにより思いやりの心を育て、健やかな成長を願う健全育成を目的に、市内の保育園と幼稚園へ子ども達に向けた絵本を贈呈した。保育所や幼稚園からのアンケートの意見からは、絵本による読み聞かせは福祉教育の推進にも寄与しており、継続して欲しいという声も多いことから、ニーズのある事業と判断し、本事業を継続していく。

②歳末たすけあい運動

【募金実績】

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
戸別募金	6,094,570	5,507,922	6,047,611	539,689
街頭募金	0	0	64,181	64,181
法人募金	20,000	10,000	20,000	10,000
職域募金	0	3,500	3,984	484
イベント募金	3,006	0	13,041	13,041
個人募金	20,500	45,000	22,000	△23,000
その他	14	12	11	△1
合計	6,138,090	5,566,434	6,170,828	604,394

【歳末たすけあい配分実績】

(単位:件)

分世帯(者)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
生活困難な支援世帯	27	33	34	1
独居高齢者	215	192	201	9
高齢者のみ世帯	20	18	21	3
寝たきり高齢者	16	9	14	5
寝たきり障害者	9	9	13	4
重度心身障害者(児)	124	127	122	△5
母子家庭	37	33	33	—
父子家庭	2	3	2	△1
児童養護施設	1	1	1	—
特別養護老人ホーム	7	7	7	—
老人保健施設	3	3	3	—
知的(精神)障害者施設	3	3	3	—
グループホーム	6	6	6	—
小規模多機能施設	3	3	3	—
小規模特別養護老人ホーム	1	1	1	—
グループホーム(障害者施設)	6	7	7	—
合計	480	455	471	16
	5,220,000円	5,000,715円	5,174,694円	173,979円

12月1日から31日まで行われる運動では、赤い羽根募金同様、多くの皆様のご協力をいただきました。寄せられた募金は、スローガンである「あったかいお正月」を地域で迎えられるよう、配分委員会を開催して配分方法を検討し、地域福祉事業に活用するとともに民生委員・児童委員を通じて市内の支援を必要としている方々や福祉施設へ見舞金を届けた。



街頭募金の実施



学校募金の協力

③災害義援金募集 義援金総額 30,000円

全国各地で災害により被災された方々を支援することを目的に、災害義援金を募集した。

7 社会福祉協議会の活動基盤整備

①事務局体制の充実

理事会・評議員会の実施状況

理事会議案一覧 〈令和3年度〉

番号	会議回数	開催年月日	出席者数	日程	番 号			件 名	審議結果
					議案	報告	その他		
1	1	R3. 5. 25	理事 13名 監事 2名	1	1			専決処分の承認を求めることについて ・令和2年度補正予算（第5号）について	可決
2				2			令和2年度事業報告並びに決算の承認について	可決	
3				3			令和3年度補正予算（第1号）について	可決	
4				4			評議員選任・解任委員会運営細則の一部を改正する 細則の制定について	可決	
5				5			評議員選任候補者の推薦について	可決	
6				6			評議員選任・解任委員の選任について	可決	
7				7			評議員選任・解任委員会の開催について	可決	
8				8			評議員会の開催について	可決	
9							1	南房総市地域福祉活動計画の進行管理について	—
10	2	R3. 6. 15	理事 12名 監事 2名	1	9			会長の選任について	可決
11				2	10			副会長の選任について	可決
12				3	11			評議員選任・解任委員の選任について	可決
13				4			1	評議員の就任について	—
14	3	R3. 9. 24	書面決 議	1	12			専決処分の承認を求めることについて ・令和3年度補正予算（第2号）について	可決
15				2	13			社会福祉協議会福祉功労被表彰者の決定について	可決
16				3		2		事業（職務）の執行状況について ・令和3年度事業活動の執行状況について ・令和3年度南房総市社会福祉協議会月次決算等の状況（事 業区分/拠点区分別合計残高試算表）	—
17				4			2	社協の事業拠点（事務所移転）について	—
18				5			3	第16回南房総市社会福祉大会の開催について	—
19				6			4	浴場等の開設状況について	—

20	4	R4. 1. 24	理事 12名 監事 2名	1	14		専決処分の承認を求めることについて ・令和3年度補正予算(第3号)について	可決
21				2	15		専決処分の承認を求めることについて ・令和3年度補正予算(第4号)について	可決
22				3	16		専決処分の承認を求めることについて ・社会福祉法人南房総市社会福祉協議会職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
23				4	17		専決処分の承認を求めることについて ・社会福祉法人南房総市社会福祉協議会職員の再雇用に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
24				5	18		定款の一部を改正する定款の制定について	可決
25				6	19		令和3年度補正予算(第5号)について	可決
26				7	20		評議員会の開催について	可決
27				8	21		社会福祉法人南房総市社会福祉協議会職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
28				9	22		社会福祉法人南房総市社会福祉協議会職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する規程の制定について	可決
29				10		3	事業(職務)の執行状況について ・令和3年度事業活動の執行状況について ・令和3年度南房総市社会福祉協議会月次決算等の状況(事業区分/拠点区分別合計残高試算表)	—
30				11		4	令和3年度南房総市指導監査の結果について	—
31	5	R4. 3. 22	理事 12名 監事 1名	1	23		令和3年度補正予算(第5号)について	可決
32				2	24		役員等賠償責任保険契約締結について	可決
33				3	25		令和4年度事業計画について	可決
34				4	26		令和4年度予算について	可決
35				5	27		評議員会の招集について	可決
36				6		5	事業(職務)の執行状況について ・令和4年度事務局組織体制について	—

評議員会議案一覧 〈令和3年度〉

番号	会議回数	開催年月日	出席者数	日程	番号			件名	審議結果
					議案	報告	その他		
1	1	R3. 6. 15	評議員 18 理事 1 監事 1	1	1			専決処分の承認を求めることについて ・令和2年度補正予算(第5号)について	可決
2				2			令和2年度事業報告並びに決算の承認について	可決	
3				3			令和3年度補正予算(第1号)について	可決	
4				4			理事の選任について	可決	
5				5			監事の選任について	可決	
6				6		1		南房総市地域福祉活動計画の進行管理について	—

1	2	R4. 2. 2	評議員 18 理事 1	1	6			定款の一部を改正する定款の制定について	可決
2				7			令和3年度補正予算（第5号）について	可決	
3				8			理事の選任について	可決	
4						1	事業（職務）の執行状況について ・令和3年度事業活動の執行状況について ・令和3年度南房総市社会福祉協議会月次決算等の状況（事業区分/拠点区分別合計残高試算表）	—	
1	3	R4. 3. 30	評議員 19 理事 1	1	9			令和3年度補正予算（第6号）について	可決
2				10			令和4年度事業計画について	可決	
3				11			令和4年度予算について	可決	
4					2		報告事項について ・令和3年度事務局組織体制について	—	

評議員選任・解任委員会議案一覧 〈令和3年度〉

番号	会議回数	開催年月日	出席者数	日程	番 号			件 名	審議結果
					議案	報告	その他		
1	1	R3. 6. 15	5	1	1			評議員の選任について	可決

事業を効果的に実施するため、民間組織として自主性・創造性を高めながら、ボランティアや福祉諸団体と連携・協働して活動の基盤整備に努めると共に、社会福祉法人としての公益性・公共性を維持しながら、運営の透明性の確保とコンプライアンスの強化に努めた。

また、理事会や評議員会などで社協の事業拠点や事務局体制について協議・検討し令和4年4月、本所を三芳農村環境改善センターに移転した。

今後も限られた職員で効率的に・効果的な福祉サービスを提供できるよう、関係機関と連携しながら進めた。

②会員募集の状況

(単位:件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
一般会員 (市内全世帯)	12,597	269	12,311	12,042
賛助会員 (活動に賛同される個人など)	421	42	417	375
特別・施設団体会員 (福祉施設・団体など)	80	29	116	87

会員募集では、社会生活や経済活動に多大な影響を及ぼしている状況から令和2年度は各区への依頼はしなかったが、今年度は依頼をし多くの会員の加入をいただいた。

③役職員研修

職員はオンラインによる各種研修に積極的に参加し、一人ひとりの資質向上に努めるとともに、昨年度に続き、試験的な人事評価制度を導入し、「住民の視点に立ち、住民とともに考え、住民のために行動できる職員」の育成を目指した。

④福祉基金の造成

基金積立額

(単位:円)

基金の種類	積立額
福祉振興基金	96,030,484
災害対策基金	8,845,134
ボランティア基金	1,594,181
合計	106,469,799

今年度も社協に寄せられた寄附を積み立て、その果実により社協活動の財源確保に努めた。今年度は 856,088 円増額となった。

⑤福祉サービス苦情解決と情報公開

福祉サービス苦情解決とサービス向上のため、責任者、担当者及び第三者委員を配置し、体制を整備した。

⑥地域福祉活動計画に基づく活動の実施

今年度も地域福祉活動計画に基づく活動を実施した。また、年度末に地域福祉活動計画の進行管理表を作成し、各活動の評価を行い結果の把握・分析し考察した。今後、考察に基づき、計画の目標や見直しを図っていく。

令和3年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月

社会福祉法人南房総市社会福祉協議会

